4.ダクト穴をあける。(φ100)

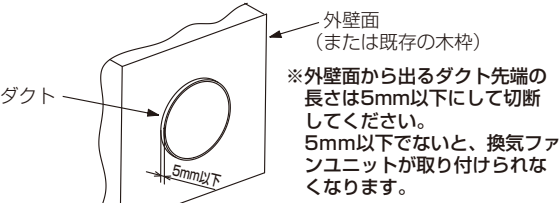
①ダクト中央穴位置にロングドリルを使用して、下穴をあける。
②下穴を利用して、浴室側の壁面にφ100の穴をあける。
③下穴を利用して、外壁側の壁面にφ100の穴をあける。

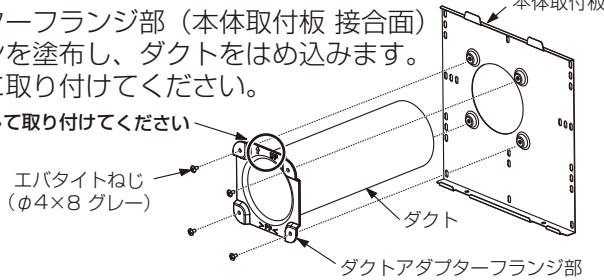
浴室側　外壁側　ロングドリル　水平　下穴あけの一例　ホルソー　浴室側φ100穴あけの一例　外壁側φ100穴あけの一例

お願い
下穴をあける前に、壁打ちセンサーなどを使用して、間柱・筋かいがないか確認してから作業をしてください。

■壁材質によって、ホルソーを選定してください。
（参考）タイル、モルタル…ダイヤモンド
木板……………木工用
塩ビ鋼板…………板金用

5.ダクトの長さを調節する。
■同梱のダクト先端が外壁面（または既存の木枠）と同じ長さになるように、切断用ノコギリを使用して切断します。

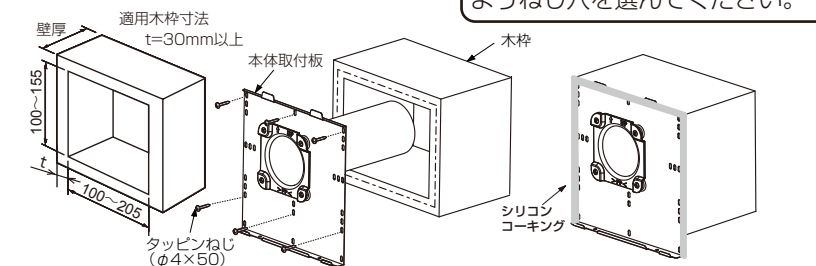
ダクト　外壁面（または既存の木枠）　5mm以下
※外壁面から出るダクト先端の長さは5mm以下にして切断してください。5mm以下でないと、換気ファンユニットが取り付けられなくなります。

6.ダクトを本体取付板に付属のエバタイトねじ（4個）で取り付ける。
■ダクトアダプターフランジ部（本体取付板 接合面）全周にシリコンを塗布し、リードをはめ込みます。
■ダクトは水平に取り付けてください。

「⇧」を上方向にして取り付けください　本体取付板　エバタイトねじ（φ4×8 グレー）　ダクト　ダクトアダプターフランジ部

7.本体取付板を浴室側の壁にタッピンねじ（6個）で取り付ける。
■この製品は室内機で7.1kgあります。本体取付板は、堅固に、また確実に密着するように取り付けてください。
■タイル壁・モルタル壁の場合、市販のアンカープラグを使用して、確実に取り付けてください。
■ユニットバスの場合、下穴にシリコンを注入し、ねじは手締めして取り付けてください。
※ユニットバスと建築躯体間のすき間が小さい場合、躯体を傷つけないよう市販の短いタッピンねじ(φ4・SUS304製)を使用してください。
■水準器などで水平を確かめてから取り付けてください。

お願い
ねじ固定に使用しない穴は
すべて付属のアルミテープ
でふさいでください
風漏れの原因となります。

水準器　上側　本体取付板　下側　タッピンねじ（φ4×50）

8.本体取付板を取り付け後、本体取付板周囲（下辺を除く）およびねじ止め部をシリコンにてコーキングする。
■水抜きのため下辺はシリコンコーキングしないでください。

既存の木枠を使用する場合
上記、5～8の作業を行う。

お願い
ねじが木枠の厚さの真ん中にくるようねじ穴を選んでください。

壁厚　適用木枠寸法 t=30mm以上　本体取付板　木枠　100～155　100～205　タッピンねじ（φ4×50）　シリコンコーキング

3 換気取付板の取り付け

1.室外機から換気ケースを取りはずし、換気ファン部分の下側ねじ（2個）をはずし、上側ねじ（2個）をゆるめ、換気ファンユニットを取りはずす。

お願い
ねじは、再度取り付けをします。なくさないようにしてください。

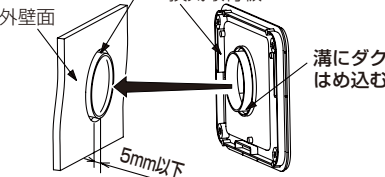
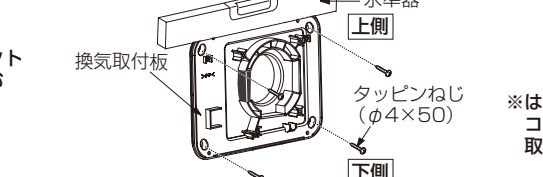
換気ケース　換気ファンユニット　換気取付板　上側ねじ（ゆるめる）　この方向にずらしてはずす　換気取付板　下側ねじ（はずす）

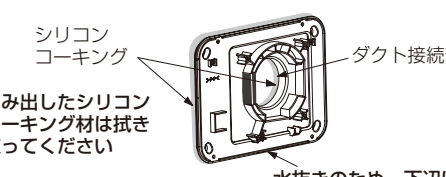
2.電線を通す部分を切り取り、切り取った部分にすき間のないようにパッキンを貼り付ける。

お願い
必ず指定された部分（**1カ所**）だけ切り取ってください。（パッキン貼付面はていねいに切り取ってください）

すき間のないようにパッキンを貼り付ける　パッキン　切り取る（電線を通す部分）　切り取らない

3.換気取付板を外壁面に取り付ける。
①換気取付板の溝にダクトをはめ込むように取り付ける。
②水準器で水平を確認しながら、付属のタッピンねじ（4個）で換気取付板を取り付ける。
③換気取付板の周囲（下辺を除く）および、ダクト接続部をシリコンでコーキングする。

外壁面　ダクト　換気取付板　溝にダクトをはめ込む　5mm以下　水準器　上側　タッピンねじ（φ4×50）　下側　シリコンコーキング　ダクト接続部
※はみ出したシリコンコーキング材は拭き取ってください
水抜きのため、下辺はシリコンコーキングしないでください

お願い
外壁面より出るダクト先端の長さが5mm以下であることを確認してください。

お願い
■換気取付板には、取り付け方向があります。間違えないよう取り付けてください。
■室外機は　1.7kgあります。堅固に、また確実に外壁面に密着するように取り付けてください。
■取り付け壁がタイル等の場合、ねじが取り付かないことがあります。その時は、市販のアンカープラグを使用してください。

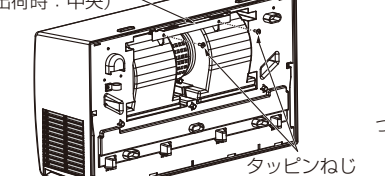
コーキング　壁　換気取付板

お願い
この面には、シリコンがつかないようにしてください。
カバーを付けるとすき間ができ、雨水が内部に侵入しやすくなります。

4 室内機の取り付け

1.換気中継リード線と電源電線をダクトの穴に通す。
2.室内機の引っ掛け穴を本体取付板のつめに引っ掛ける。
3.換気中継リード線と電源電線をたるみがないようにダクト穴の中に押し込む。
■浴室側から見てダクト穴が左寄り（または右寄り）に開いている場合は、製品裏面の取付金具を下図のようにずらして取り付け、本体取付板に引っ掛けてください。

引っ掛け穴　つめ　室内機　換気中継リード線　ダクト　電源電線　本体取付板

取付金具のずらしかた
①取付金具のタッピンねじ(2個)をはずす。
②本体裏側スリットから、取付金具のつめを左へスライドさせてはずす。
③取付金具の位置を左側(または右側)にずらして、本体裏側スリットに差し込み、タッピンねじ(2個)で取り付ける。
●ダクト穴が右寄りの場合　●ダクト穴が左寄りの場合

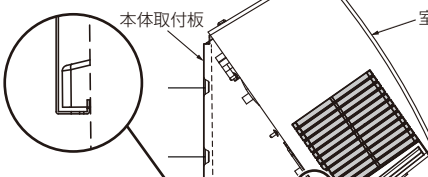
取付金具（出荷時：中央）　タッピンねじ（φ4×12）　本体裏側スリット　つめ　取付金具

お願い
ねじは再度取り付けをします。なくさないようにしてください。

4.室内機固定部を本体取付板の上側に差し込み、室内機を固定する。

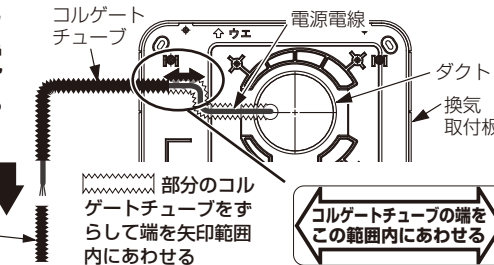
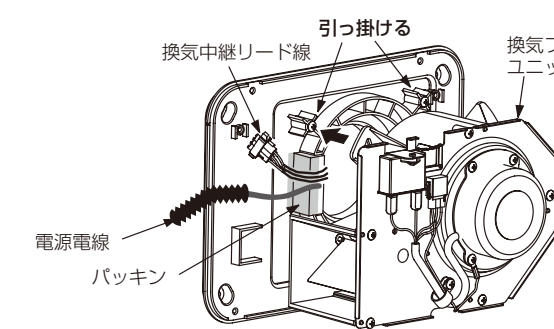
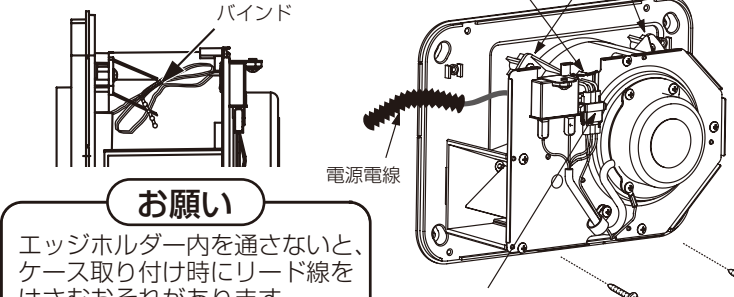
お願い
室内機固定部が本体取付板の上側に入っていないと固定できません。

5.本体取付板と室内機を付属のタッピンねじ（2個）で固定する。

⚠注意
忘れずに必ず固定してください。
（ロングドライバーにて手締めで取り付けてください）
ねじ締め後、確実に固定されていることを確認してください。

本体取付板　室内機　室内機固定部　タッピンねじ（2カ所）（φ4×16 黒）

お願い
室内機の奥にあるのでフロントカバーの切り欠き部を参考に位置を確認してください。

5 換気ファンユニット・換気ケースの取り付け

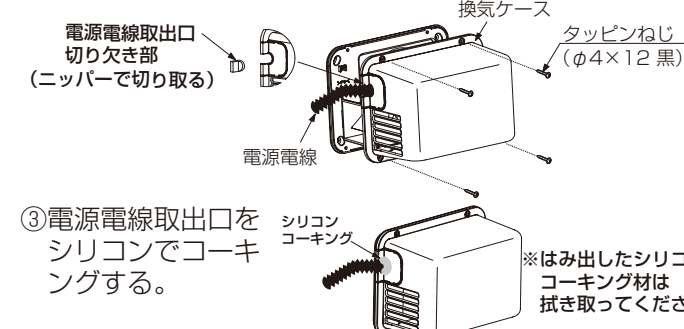
1.電源電線先端の結束バンドを取り除き、換気取付板の矢印(ラベル)の範囲内にコルゲートチューブの端をあわせて、電源電線先端側のコルゲートチューブは、ずらした分だけ取り除く。
■電源電線(灰色の被覆)を傷つけないように注意してください。
■ダクト内にコルゲートチューブを入れないでください。
（換気運転時、異音が発生するおそれがあります。）

2.換気ファンユニットを上側ねじ（2個）に引っ掛ける。
■換気中継リード線と電源電線は左側面のパッキンより取り出してください。

3.換気ファンユニットをねじ（4個）で固定し、換気中継リード線をエッジホルダー内を通し、接続する。
■余った換気中継リード線は付属のバインドにより、結束しておきます。

お願い
エッジホルダー内を通さないと、ケース取り付け時にリード線をはさむおそれがあります。

お願い
換気中継リード線のコネクタが確実に接続されていることを確認してください。

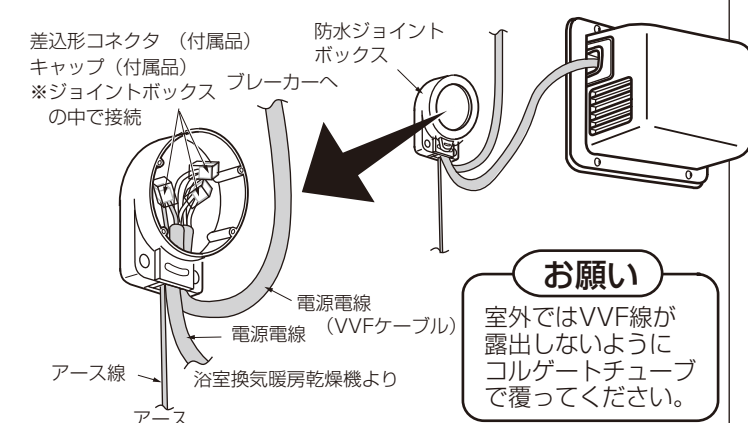
4.換気ケースを取り付ける。
①換気ケースの電源電線取出口切り欠き部をニッパーを使って切り取る。
■電源電線取出口は換気ケースの左側の切り欠き部1カ所のみ切り取ってお使いください。
②電源電線取出口から電源電線を取り出し、付属のタッピンねじ（4個）で換気ケースを固定する。

電源電線取出口 切り欠き部（ニッパーで切り取る）　換気ケース　タッピンねじ（φ4×12 黒）　電源電線

③電源電線取出口をシリコンでコーキングする。

シリコンコーキング　※はみ出したシリコンコーキング材は拭き取ってください

必ず実施してください
■電源電線取出口は、バリがでないように切断してください。バリがあると、電源電線を傷つけるおそれがあります。
■換気ケース取り付けのとき、リード線などのはさみ込みに十分注意してください。
■必ずシリコンコーキングしてください。シリコンコーキングしないと、機器内部に雨水が浸入します。

6 電源の接続

防水ジョイントボックス（市販品）の中で、電源電線（アース線含む）を付属の差込形コネクタとキャップを使い、結線する。
■電源電線はVVFケーブルφ1.6またはφ2を使用してください。
細い心線の電源電線を使用すると、発熱により発火のおそれがあります。
■電源電線は途中で切断しないでください。
■本体電源電線の白色側を屋内配線の接地側に接続してください。
屋内配線が正しく行われているか、極性確認をしてください。
■電源は必ずAC200Vを使用して、電源電線先端は付属の差込形コネクタの奥まで確実に挿入してください。
間違った電源を使用したり不十分な配線をすると、火災や故障の原因となります。
■電源電線はバンドなどで束ねて収納しないでください。発熱により発火のおそれがあります。
■プラグは使用しないでください。

お願い
室外ではVVF線が露出しないようにコルゲートチューブで覆ってください。

お願い
差込形コネクタは付属のキャップを奥まで被せてください。

押し込む　VVF線が見えないようにコルゲートチューブを押し込む　コルゲートチューブ

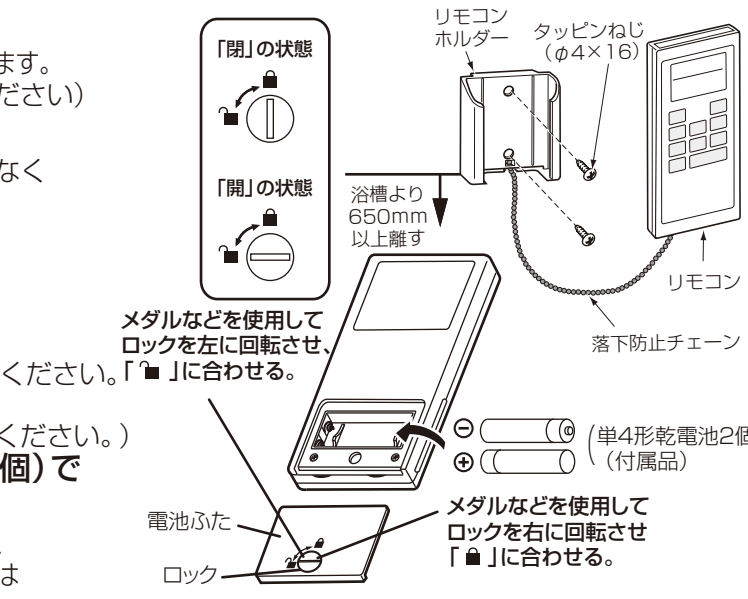
7 リモコンの取り付け

1.取り付け位置を決定する。
■リモコンには約300mmの落下防止チェーンが付いています。
（取り付け位置はお客様とご相談のうえ決定してください）

浴室外設置の場合
■浴室のドアを開けてリモコン受信部に向けて無理なく操作できる位置に設置してください。

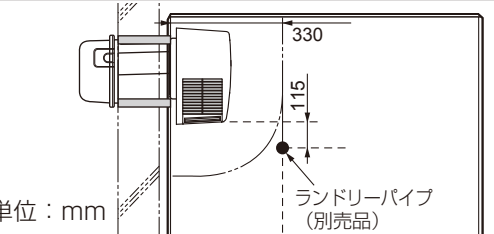
浴室内設置の場合
■シャワーなどの水がかかりにくい場所に設置してください。
■浴槽の上は避けてください。
■取り付ける高さは浴槽より650mm以上高くしてください。
■洗い場側の壁面に取り付けてください。
（製品を取り付けている壁面への設置はしないでください。）

2.リモコンホルダーを付属のタッピンねじ(2個)で固定する。
■取り付け位置が石こうボードやタイルなどの場合、ねじが取り付かないことがありますので、その時は市販のアンカープラグを使用してください。
■浴室内設置の場合はねじ穴は必ずシリコンでコーキング処理を行ってください。
はみ出したシリコンコーキング材は拭き取ってください。

3.リモコンに電池を入れる。

お願い
■電池ふたを開閉するときはメダルなどを使用してください。
ドライバーを使用するとロックが破損する可能性があります。
■電池ふたのロックは表示されているマークの範囲位置を超えないように回してください。

8 ランドリーパイプの取り付け

右記の位置に、ランドリーパイプ（別売品）を取り付ける。
■指定の寸法以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります。

単位：mm

9 試運転

取扱説明書の「使いかた」のページを参照し、試運転を行い異常がないか確認する。
異常についての内容、処置については取扱説明書の「故障かな!?」のページを参照する。
■引き渡しまで期間があく場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
<試運転の内容>
1. 各モードのボタンを押して、正常に動作していることを確認する。（全モード）
2. 止ボタンを押して、運転を停止させる。

10 確認事項のチェック

右記の確認表に従い、確実に施工したかを再度確認してください。施工できていれば✓チェックを記入してください。

チェック内容	チェック欄
製品はしっかり付いていますか？	
製品の周囲に適切なすき間がありますか？（[1]設置位置の決定を参照）	
ランドリーパイプの取り付け位置は正しいですか？（[8]ランドリーパイプの取り付けを参照）	
異常音はありませんか？	
電源電線・アース線の接続は確実に行われていますか？	
電源は単相AC100Vに接続されていますか？（AC100Vに接続されると動作しません）	

試運転のあとは
■工事店様へ
施工後は、同梱の「取扱説明書（保証書付き）・所有者票セット」をお客様へお渡ししてから、製品の使いかたを説明してください。取扱説明書に付属の保証書には、店名および取付日を必ず記入してください。

24UW54250ATO